

2024東京国際包装展

10月23日—25日
東京ビッグサイト

出展企業の製品・技術
順不同

スター精機

スター精機は国盛化学、スターテクノのグループ3社共同で出展する。

スター精機はロボットパレタイザー「PXL-153」に「3Dビジョン デパレワークスキヤンシステム」を搭載。10月1日にリリースした、ロボットパレタイザーの設定作業を大幅に短縮するソフトウェア「パレタイザーエディター」と同時展示する。

パレタイザーエディターはインターネットブラウザ上で操作でき、顧客自身が簡単に積み付け設定が可能。同ソフトの使用で設定にかかる作業時間を、3分の1程度に短縮できる。

グループ3社は各社の強みを生かし、課題解決を提案する。

京町産業車輌

京町産業車輌は「ユーザーイン（顧客発想）」を視点に、包装や梱包にかかる荷役運搬機器を手がける。多様な製品群を持ち、顧客ニーズに合わせて最適な製品を提案する。

「ぐるんパ」は原材料の投入作業を省力化する機器で、業務用大袋や一斗缶、ペール缶などに対応する。ニーズに合わせて電動モーター式、パワーアシスト式、手動補助機能式、エア式から選択できる。

「ロール反転リフト」シリーズは重いロールを反転、昇降、搬送して機械に装着する。内径・外径チャック式などの機種があり、ロールの外径や重量によって機種を選べる。大型・重量ロールに対応した機種も用意する。

ハナガタ

ハナガタは自動車や産業機械向け金属部品の劣化を防ぐ包装技術を紹介する。目玉は金属部品を防錆効果のあるフィルムで自動包装するシステムで長期保管を可能にする。

また、輸送時の接触による傷の防止にもなり、運搬への作業性アップにつながる。

大物から小物、長尺物や重量物まで部品の大きさに合わせてカスタマイズ（個別対応）する。全自動かつ連続的に包装するため、省人化にも貢献。

生産停止・減少や供給不足の原因になりうる「長納期化」を軽減する対策として、車や電気機器に使用されるあらゆる部品を「長期保管」するソリューションを提案する。

大森機械工業

大森機械工業は「生産性の向上」「環境対応・省資源化」「フードロス削減」をキーワードに、実機7台を展示。顧客目線で使い勝手を追求した高速横ピロー包装機「NSW-7000シリーズ」を実演する。

3種類のフィルム供給方式が選択できる特徴を持つ。従来の固定式スライサーに加え、オペレーターが作業しやすいようにフィルムセットを低位置に配置したリボルバー式フィルムサプライ、リボルバー式ヒートシールスライサーをラインアップする。包装機本体はモジュラーデザインを採用することで、主要装置がユニット単位で脱着でき、メンテナンスも容易。環境に配慮した紙包材のニーズにも応える。

東伸

東伸は高速でコンパクトな新型3機種、スリッター「e S！」とリワインダー「e R！」「m R！」を披露する。使い手の安全・安心を高め、新素材対応や生産性向上に威力を発揮する。3機種はシンプルな設計で、使いやすさを追求。直観的に操作ができるタッチパネルや連動動作を採用した。きめ細かい制御により、低張力から高張力まで張力変動を抑え、デリケートな新素材への対応を可能とした。

全方位から視認できる発光ダイオード(LED)警告灯と、白を基調としたボディーカラーが特徴。レイアウト変更に便利なキャスター付き。標準オプションで欧州の安全規格「CEマークリング」にも対応している。

花塚製作所

花塚製作所はステンレス製ポンプと定量充填機の専門メーカー。ステンレスルーツポンプ「CFシリーズ」は①低粘度から高粘度までの液体輸送に対応②接液部・駆動部の完全分離型で「分解・洗浄・組み立て」が容易③独自のメカニカルシールを採用し衛生的④吐出量の変化が少なく、任意設定が可能⑤自吸式で騒音がないなどの特徴を持つ。

定量充填機は連続・間欠運転とも安定した充填量で、量も変更しやすい。液切れに優れた特殊ノズル装置などを装備している。

液温は約10度Cから100度Cまで対応しており、食品や化粧品、化学品・薬品などを輸送できる。

シンク・ラボラトリー

シンク・ラボラトリーは自動検査機を搭載した自動レーザーグラビア製版システム「New FX3」を出展する。従来は完成シリンダーを手動で検査機に載せる必要があったが、本機ではオンラインでクロム版面検査と版深度測定を行う。1日当たり80本の生産が可能になった。これまで対応できなかった迅速性と省力化を達成している。

軟包装用水性インクジェットプリンター「FXI J」は、ナイロンフィルムへの対応で冷凍食品など、小ロットでニーズの高いパッケージ製造に活用できる。会場では実際にFXI Jで対応した冷凍食品の実績を中心に展示する。大径基材対応の新モデルも発表予定。

パイオニア風力機

パイオニア風力機はクリーン環境機器の総合メーカー。「クリーンルームダスター」は同社の主力製品で、工場の入り口に設置して使用する。秒速23㍍以上の高速エアを装置の天井と左右側面の3方向から吹き出し、身体に付いた毛髪やゴミなどを吹き落とす。これらを床面から吸い取る独自の仕組みで、高い異物除去能力を発揮する。

このほか、靴底や車輪の汚れを瞬時に除去する高性能玄関マット「エア吸着マット」や、高速空気噴流で通い箱のゴミや異物を吹き飛ばす「洗浄型バスボックス」などをそろえ、製品品質の向上と快適な職場環境の実現に貢献する。

横浜リテラ

横浜リテラは「超速！パッケージ」をテーマに出展する。紙器専業メーカーとしてデザインの企画提案から印刷・加工、さらに顧客商品のパッケージングまで一貫して行うワンストップ生産体制を敷く。機械化が難しい紙器の組み立てや箱詰めなどの手加工にも対応。サンプル作成も「超速」でこなし、スピード感あふれるモノづくりを実現する。安全性が問われる食品・菓子パッケージの要求品質を満たすクリーン工場も備える。

同社のデザイン部門である「横浜リテラデザインスタジオ」は、パッケージデザインパビリオンに単独で出展。パッケージメーカーのノウハウを駆使したデザインを紹介する。